

機械器具 22 検眼用器具
一般医療機器 直像検眼鏡 12817000

Ri-Scope 検眼鏡

【禁忌・禁止】

- ガスが発生している機器のそばでは使用しない。
- 検眼鏡部分及びハンドル部分をぬらさない。
- 検眼鏡で長時間、また必要以上に強い光強度で目の検査を実施しない。長時間光強度での使用は網膜を損傷することがある。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観・構造



①	ヘッド部
②	ハンドル部 ハンドル部: AA タイプハンドル、C タイプハンドル 電池: アルカリ乾電池(単2電池、単 3 電池)、リチウム充電電池
③	レンズ L1: + (1-10, 12, 15, 20, 40); - (1-10, 15, 20, 25, 30, 35) L2: + (1-10, 12, 15, 20, 40); - (1-10, 15, 20, 25, 30, 35) L3: + (1-45 の 1 単位毎); - (1-44 の 1 単位毎)
④	ハードケース

2. 原理

照明光を被検者の眼に当て、眼底からの反射光を、レンズを通して覗くことにより検者の眼底に像が写し出され観察することができる。

3. 規格・性能

4. 1) ヘッド部(直接検眼鏡)

光源	光源: LED 光強度: 色温度: 4000k 演色: CR1>90 寿命: 10 万時間
電源・電気	リチウム電池 3.6V 2600mAh 9.62Wh 充電電気: 120V フル充電で 50 時間 アルカリ乾電池: 単 2 形、単 3 形 消費電力: アルカリ電池使用 2.5V リチウム電池使用: 3.5V
補正レンズ	L1: + (1-10, 12, 15, 20, 40); - (1-10, 15, 20, 25, 30, 35) L2: + (1-10, 12, 15, 20, 40); - (1-10, 15, 20, 25, 30, 35)

	L3: + (1-45 の 1 単位毎); - (1-44 の 1 単位毎)
フィルター	L1: L2: L3:
アパーチャー	L1: L2: L3:

【使用目的又は効果】

眼球内部の検査に用いる手持型(電源式又は電池式)の機器をいう。照明と、1 つの穴が開いた鏡(検査者はこの穴を通して見る)のほか、様々な度数の複数のレンズを切換できるダイヤルより成る。約 15 倍に拡大した正像が得られるものもある。

【使用方法等】

- ① 使用環境:
環境温度: 0° ~ 40°C
湿度: 30% ~ 70% (結露ないこと)

② 使用方法

A) バッテリー

① 使用バッテリータイプ

製品	バッテリータイプ
AA ハンドル rheotronic ® 2.5 V	アルカリ乾電池単 3 電池 2 個
CC ハンドル rheotronic ® 3.5 V 充電用	Riester 3.5V 充電電池
CC ハンドル rheotronic ® 3.5 V プラグ充電用	Riester 3.5V 充電電池 (120V)

- ② バッテリー挿入取出しは、ハンドル下部分のハンドルカバーのねじを外し、左にハンドルを回し、ハンドルカバーをあげ、指定タイプの電池を挿入する。ハンドルカバーを右に回ししっかり締める。ネジをしっかり締める。取り出す場合も同様の操作を行う。
- ③ 充電電池使用機器の場合は、充電方法は、プラグにつなぎ充電をする。グリーンライト点灯はフル充電 グリーンライト点滅は充電中

B) 使用手順

- ① 検眼部をハンドルに接続するには、ハンドル部分の 2 か所の突起部分を検眼部に合わせて、検眼部を挿入する。右にハンドルを回るだけまわす。
- ② 電源の ON はハンドル上部のスイッチボタンを右に回す。OFF は左にボタンを回す。
- ③ 光強度はスイッチダイヤルを回して調整する。
- ④ 3 分後に自動的にライトは OFF になる。
- ⑤ 補正レンズは補正レンズダイヤルで調整する。観察孔に補正レンズの値が表示される。緑色の数字が凸レンズ度数、赤色の数字が凹レンズ度数になる。
- ⑥ アパーチャーはアパーチャーダイヤルで選択する。アパーチャー種類は下記になる。

● 半円スポット	不透明レンズによる検眼
● スポット小	小瞳孔反射軽減
● スポット中	小瞳孔反射軽減
● スポット大	通常検眼
● グリッド	網膜変化のトポグラフ診断
● スリット	レベル相違診断
● スター固視標	偏心固視中心決定

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ⑦ フィルターはフィルターダイヤルでフィルターを変更する。フィルターは下記の種類機能がある。

フィルター種類	機能	モデル
レッドフリーフィルター	網膜血管の動脈の詳細コントラスト強調	L1, L2, L3
偏光フィルター	網膜反射を抑え細胞の色を精巧に評価	L2, L3
ブルーフィルター	蛍光検眼用動脈異常や出血を高認識	L2, L3

- ⑧ 焦点合わせ (L3 モデルのみ) は、焦点合わせダイヤルを調整して、検眼領域の距離の精密調整をする。
- ⑨ 付属の 5 倍拡大鏡は、必要に応じて検眼領域と機器頭部の間に置き使用する。
- ⑩ ランプ交換はバッテリーハンドルから検眼部を外し、検眼部上部にあるランプを適切なツールを使って取り外す。新しいランプを取り付ける。注意: ランプのピンを機器頭部にある溝に挿入する。

【使用上の注意】

- ① 最初使用時にプラグ充電する場合は 24 時間以上充電してください。その後再充電する場合は、24 時間以上連続充電しないこと。
- ② バッテリーを交換する時は、プラグを必ず外してください。
- ③ 長期間使用しないとき、また移動中はバッテリーを取出しておくこと。
- ④ 乾電池使用時は、最適なライトを得るためには、高品質の乾電池を使うこと。
- ⑤ 機器が濡れてり、水滴が付いているときは、短絡をおこし不良の原因となるため、充電しないこと。
- ⑥ 充電電池の寿命を保つためには、光強度が弱まったときのみ充電をすること。
- ⑦ 付属品・消耗品は Riester 指定の製品を使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

- 1) 保管条件
- ① 専用のキャリーケース内で保管してください。
 - ② 塵埃を避け、使用時の曇り防止のため、使用場所と温度差のない場所に保管してください。
 - ③ カビ、やけ、曇り防止のため、炎天下の車内、直射日光下や高温環境下、及び、化学薬品がある場所、ガスが発生する場所では保管しないでください。
- 2) 保管環境
- 温度: -10° ～ 55°C
- 湿度: 10% ～ 95% (結露がないこと)
- 気圧: 800hPa ～ 1100hPa
- 2) 有効期間
- 取扱説明書・添付文書推奨の保守・点検を行ない、推奨付属品・消耗品を使用した場合に限り、納入後 7 年 (自己認証、当社データによる。)

【保守・点検に係わる事項】

- 1) 日常のお手入れ 消毒
- ① 頻度は、使用状況により判断する。また施設ごとに手順があればそれに従う。
 - ② 検眼部とハンドルは湿った布でふく。
 - ③ 消毒は、消毒液メーカーの推奨品を使用し、消毒剤で消毒後は湿った布でふき、菌の付着を防ぐ。
- 2) 保守・点検
- 定期的保守点検は特に規定していない。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：オガワ精機株式会社

電話番号：03-6908-5257

外国製造業者：Rudolf Riester GmbH (ドイツ)